

2019 やまがた県政の動き



山 形 県

表紙写真

「東北中央自動車道「南陽高畠 IC～山形上山 IC 間」開通式典」(2019.4.13 左上)

「庄内一東京(成田)就航記念 共同記者会見」(2019.4.17 右上)

「大玉さくらんぼ新品種「やまがた紅王」名称発表」(2019.6.4 左中)

「山形県沖を震源とする地震(6月18日)の被災状況視察」(2019.6.21 右中)

「「つや姫」デビュー10周年記念稲刈りイベント」(2019.9.17 左下)

「山形県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」大ホールお披露目式」(2019.12.1 右下)

2019 山形県の動き 出来事一覧

1月

- 7日 県内の民生児童委員及び主任児童委員に対して実施した「困難を有する若者等に関するアンケート調査」結果を公表 5年前と比較し困難を有する状態にある若者は減少したが40歳以上では増加 調査は5年ぶり2回目
- 9日 山形県名誉県民 故・石坂公成氏に対する伝達式を県庁で開催 御子息の裕氏が出席され、知事から名誉県民称号記、名誉県民章を授与 山形県名誉県民は4人目
- 15日 中山町長に佐藤俊晴氏が無投票で再選
- 15日 県庁で、東京2020オリンピック聖火リレー山形県実行委員会設立総会及び第1回総会を開催
- 16日 県総合運動公園陸上競技場の施設命名権(ネーミングライツ)について、現命名権者であるエヌ・デーソフトウェア株式会社と契約の更新について合意 期間は2022年2月までの3年間 知事とエヌ・デーソフトウェア株式会社の佐藤廣志代表取締役社長が協定書を締結
- 17日 洋菓子製造販売の株式会社シベール(山形市)が民事再生法の適用を申請 (6/3株式会社ASフーズ(山梨県)に事業譲渡)
- 17日 県産木材を活用した民間施設を顕彰する「やまがたしあわせウッド賞」を創設し、パレスグランデール(山形市)で6施設に対し顕彰状を授与 賞を通じて民間施設の木造化を促し、県産木材のさらなる利用拡大を推進
- 17日 知事は、県観光物産協会会長、県日華親善協会会長らとともに台湾トップセールスを実施 航空会社及び旅行会社を訪問し、台湾との国際定期チャーター便の運航継続・拡大に向けた現地プロモーション(～1/19)を行い、新たに春・夏期の国際チャーター便84便の運航が決定 台湾から本県への夏期のチャーター便は初
- 17日 庄内地域2市3町と庄内総合支庁、ヤマガタデザイン株式会社との間で「庄内地域へのUIJターン促進に関する連携協定」を締結 「移住定住」と「人材確保策」に係る情報発信や受入体制の整備に向けて相互協力
- 20日 障がい者を対象とした山形県職員選考試験において、初めて全ての障がい種別を対象として試験を実施 採用予定人数約10名に対して115名が申し込み 103名が受験 最終合格者12名
- 22日 河北町長に森谷俊雄氏が無投票で初当選
- 22日 三川町長に阿部誠氏が無投票で6選
- 22日 知事は、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟会長として、JR東日本の喜勢常務取締役に対し要望活動を実施 奥羽・羽越両新幹線の早期実現及び奥羽新幹線の実現を見据えた福島ー米沢間トンネル整備の早期事業化等について要望 県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟及び県内3地域の推進組織が合同で実施

- 28日 ロンドンに本部がある世界最大規模の酒類教育機関「ワイン&スピリッツ教育財団(WSET)」の関係者が知事を表敬 県内の酒蔵視察のために来形
- 29日 「やまがた百名山」の美しさや魅力を切り取った写真を広く募集し、本県山岳資源の魅力を県内外に発信することを目的に、「山野草に彩られた『やまがた百名山』」をテーマに実施した写真コンテストの入賞作品(最優秀賞1点、優秀賞3点、入選6点)を発表
- 30日 県教育委員会が、「学校における働き方改革の取組み手引」の改訂版を作成 国の動向や、中央教育審議会、全国都道府県教育委員会教育長協議会などの提言を踏まえ、県教育委員会として取組んでいく施策をまとめ、教員の業務見直しを推進
- 31日 昨年8月の豪雨災害からの本格的な復旧を迅速に進めるため、最上総合支庁は最上地域大雨災害復旧推進会議を設置 公共災害復旧事業に関する国の災害査定の結果について、合計 644 か所で総額 97 億 800 万円と公表

2月

- 1日 奥羽・羽越両新幹線の沿線6県などで構成する奥羽・羽越関連鉄道4同盟会は、国土交通省に対し、両新幹線の整備に向けた調査実施や奥羽・羽越両本線の高速化、安定輸送などを求める要望書を提出
- 1日 最上川ふるさと総合公園(寒河江市)で、県、寒河江市、西村山郡4町が連携して「第4回やまがた雪フェスティバル」を開催(～2/3) 来場者は昨年より2万6千人多い、22万9千人
- 1日 滝の湯(天童市)にて、前年開催の「UNWTO 雪と文化の世界観光会議」の成果を踏まえ、冬の東北のブランド化を一層推進するため、「雪と文化をテーマとした東北観光プロモーション会議」を開催 東北一体でインバウンド拡大を目指す冬の東北観光宣言を発表
- 4日 平成30年度山形県防災会議を県庁で開催 国の防災基本計画の修正などに伴う山形県地域防災計画の修正案について了承
- 5日 「山形県民CO₂削減価値創出事業」におけるCO₂削減価値の売却先となるカルネコ(東京都千代田区)、アキレス(東京都新宿区)、チノー(東京都板橋区)、新電元工業飯能工場(埼玉県飯能市)との売買契約締結式を県庁で開催 県民による温室効果ガス排出削減量を集約し、政府のJ-クレジット制度を活用して都市圏の企業等へ販売し、得られる収益を環境保全活動に活用
- 6日 地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」「新庄酒田道路」の整備促進等に関して、知事と沿線市町村長等が、国土交通省に対して要望活動を実施
- 7日 「雪とまつりの HISTORY～雪国救済運動発祥の地、新庄から未来へ～」をテーマに「ゆきみらい2019in 新庄」を新庄市民文化会館等で開催 県などが構成する実行委員会が主催し、シンポジウムや研究発表会、除雪機械の展示・実演会等に約14,000名が来場(～2/8)
- 12日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 社会環境の変化の見通しを踏まえた今後の県づくりの方向性について審議
- 12日 県とキューピー株式会社は、山形県産農産物の地産地消の推進と利用拡大に関することなど6項目を定めた「やまがた創生に関する包括連携協定」を締結

- 13日 県庁で平成30年度山形県卓越技能者等表彰式及び若者技能振興奨励賞授与式を開催 優秀な技能者や職業能力開発に功労のあった卓越技能者等14名、9団体及び高等学校在学中に技能検定2級に合格し、卒業後県内事業所に就職した4名に対して知事から表彰状を授与
- 14日 県庁で「山形県医療的ケア児支援会議」の初会合を開催 会議は、県医師会や県看護協会、医療機関などで構成し、日常的に医療的なケアを必要とする子どもとその家族に対する支援について協議
- 15日 平成31年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は前年度比1.3%増の6,131億円
- 15日 **農林水産省が日本農業遺産の認定を行う地域について発表し、「山形県最上川(もがみがわ)流域 歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産・染色用加工システム～」が県内で初の認定**
- 15日 貿易振興課修正案のとおり:平成30年酒田港の取扱貨物量を公表 国際コンテナ貨物量は、輸出15,848TEU(前年比11.2%減)、輸入9,473TEU(前年比9.9%減)、輸出入合計25,321TEU(前年比10.7%減)となり過去最高であった平成29年を下回ったものの、過去2番目の貨物量を記録
- 18日 冬季パラリンピック・ノルディックスキーのメダリストで、パラテコンドー選手として活動する太田渉子選手が知事を表敬訪問 2020年東京大会の出場を目指すことを報告
- 18日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド化戦略推進本部会議」を開催 「つや姫」「雪若丸」のブランド化の推進について協議
- 19日 県議会2月定例会が開会(～3/14)
- 20日 県庁で、県と東京外国語大学との「国際化の推進に関する相互協力協定」締結式を開催 インバウンド推進、県産品の輸出、地域活性化、国際感覚を身に付けた人材の育成に関して、両者が協力・連携することで合意
- 22日 平成31年3月より適用する公共工事設計労務単価を改定 本県の主要12職種平均額は20,893円となり、昨年比816円増で8年連続の上昇
- 22日 県庁で平成30年度山形県スポーツ賞授賞式を開催 2018ワールドパラスイミングワールドシリーズ イギリス・シェフィールド大会男子100mバタフライで世界新で優勝の東海林大選手など95人、8団体を表彰 知事が代表者に山形県スポーツ賞を授与
- 24日 内閣府主催の「天皇陛下御在位三十年記念式典」の開催に合わせ、記帳所を県機関9か所に設置(～2/25)
- 24日 戸沢村長に渡部秀勝氏が当選し5選
- 25日 オール庄内ロケで制作された映画「サムライマラソン」の関係者を代表して、竹中直人さんとバーナード・ローズ監督が知事を表敬訪問
- 27日 県と日本生命保険相互会社は、健康増進に関することなど6項目を定めた「やまがた創生に関する包括連携協定」を締結
- 27日 科学技術の分野で優れた研究成果を挙げた若手研究者を表彰する山形県科学技術奨励賞の授与式を山形県私学会館(山形市)で開催 慶應義塾大学先端生命科学研究所の荒川和晴准教授、県工業技術センターの齊藤寛史専門研究員が受賞

- 27日 (財)日本穀物検定協会が実施した平成29年産米の食味ランキングで、県産米の「つや姫」がデビュー以来9年連続で最高の「特A」評価 「雪若丸」も「特A」評価を獲得
- 28日 ミハイル・セルゲエーフ在新潟ロシア連邦総領事が知事を表敬訪問

3月

- 4日 四季折々の美しい景観、精神性の高い文化に基づいた地域資源や産業、美食・美酒など、全国、世界に誇れる本県の魅力や個性、強みをトータルでご紹介するため、総合情報誌『真 山形(しんやまがた)』を発刊
- 5日 県と山形県旅館ホテル生活衛生同業組合は、「災害時における宿泊施設の提供等に関する協定」締結式を開催 災害発生時、県が高齢者、障害者、妊産婦など、要配慮者の受け入れを組合に要請し、組合が受け入れ可能な宿泊施設の提供を支援
- 5日 パレスグランデール(山形市)で「平成31年産『つや姫』生産者認定証及び『雪若丸』生産組織登録証交付式」を開催 県全体の生産者・生産組織数及び作付面積は、「つや姫」が5,163人・組織、9,500ha、「雪若丸」が99組織、2,704ha
- 11日 文翔館(山形市)で、東日本大震災追悼・復興イベント「キャンドルナイト『追悼・復興への祈り』」が開催 復興へのメッセージ発表、山形交響楽団による演奏の後、知事と県内に避難している児童らがキャンドル点灯式を行い、来場者が手作りしたキャンドルをハートと3.11の形に灯し、東北の復興を祈願
- 11日 伝国の杜(米沢市)で、東日本大震災復興祈念事業「追悼式・復興のつどい」を開催 政府主催の東日本大震災8周年追悼式の中継、避難者代表あいさつ、誓いのことば、避難者の現状報告等を行い、東北全体の復興再生を祈念するとともに、避難者と県民の交流を促進
- 12日 県庁で、県と立命館大学との「学生UIターン就職促進に関する協定」締結式を開催 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者のUターン就職などの促進を図るもの 関西圏初の協定締結
- 12日 全国高校総体スピードスケート競技女子学校対抗で優勝した県立山形中央高等学校スケート部の部員らが知事を表敬訪問
- 13日 県議会が、知事に対して以下の3つの政策提言を実施 ①未来を担う人材の育成と若者の県内定着・回帰に向けた対策の推進、②県民の生命を守り持続的な成長を実現する県土強靱化・安全心対策の推進、③経済のグローバル化や人口減少社会に対応した産業振興・雇用対策の推進
- 15日 **スポーツを通じて健康で豊かな県民生活と活力ある地域社会を実現することを目指し、「山形県スポーツ推進条例」を議員提案条例として公布・施行**
- 15日 昨年8月にたび重なる豪雨災害で大きな被害が発生した舟形町、大蔵村、鮭川村、戸沢村の激甚災害指定が閣議決定
- 17日 戸沢村で、国・県・村が「平成30年8月6日出水を踏まえた角間沢川の治水対策に関する住民説明会」を開催し、治水対策として集落全体を堤防で囲む「輪中堤」を整備する方針を決定

- 19日 遊佐町の沿岸部約 258ha を津波防災地域づくり法に基づき津波災害警戒区域(イエローゾーン)に指定 全国で 12 番目、東北初の指定
- 19日 「新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム」設立総会を開催 平成 29 年度から2年間実施してきた、地域の大人との対話を通して最上地域の現状や課題について高校生が学ぶ「新庄・最上ジモト大学」について、本格的な事業展開を行うもの
- 20日 農林水産省は、地域の農林水産物・食品のブランドを保護する地理的表示(GI)の対象に、JA やまがたが申請した、上山市の伝統野菜「小笹(おざさ)うりい」を追加登録 GI 指定登録は県内で5件目
- 20日 山形県文化財保護審議会は、「木造男神像」(長井市)など2件を県指定文化財にするよう答申 県天然記念物の「釜ノ越サクラ」を指定解除にするよう答申 県指定文化財の総数は 529 件
- 23日 県及び鶴岡市並びに慶應義塾大学先端生命科学研究所は、同研究所を核とした知的集積・地域活性化を促進するための協定締結式を、ホテルメトロポリタン山形(山形市)で開催 協定は5年間で、今回で5期目
- 23日 **東北中央自動車道の東根 IC から東根北 IC(県が追加 IC として整備)までの 4.3km が開通** 知事や地元自治体の首長、県選出国會議員ら関係者が出席して開通式典を開催 同区間は国道 13 号を利用した場合と比べ、所要時間が約5分短縮
- 26日 県教育委員会の3月臨時会において、「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」が可決され、庄内地区への中高一貫教育校の設置方針を決定
- 27日 **4月1日に山形市が中核市に移行し一部の事務権限が県から移譲されるのを前に、吉村知事から山形市長への事務引き継ぎ式を開催** 中核市移行に伴い、保健所の運営、診療所の開設許可、保育所の設置認可など 2543 項目の事務権限を県から同市に移譲
- 28日 台湾桃園国際空港と山形空港・庄内空港を結ぶ中華航空の国際定期チャーター便が3月から8月までの間、計 84 便が運航されることを受け、山形空港で歓迎行事を開催
- 29日 統一地方選前半の山形県議会議員選挙が告示(17 選挙区総定数 43 に対し立候補の届出は 54 候補 うち9選挙区 17 名が無投票当選)
- 29日 国土交通省は、一般国道 113 号(新潟山形南部連絡道路)「小国道路」の新規事業化の決定を発表 新潟山形南部連絡道路の全線事業化に向けて前進

4 月

- 1日 山形テルサ(山形市)で、山形市の中核市移行記念式典を開催 県内の中核市誕生は初
- 1日 平成 31 年 4 月 1 日からの山形県民会館及び山形県こども館(山形市)の施設命名権について、現命名権者である株式会社山形銀行と契約更新について合意 契約期間は平成 32 年 3 月 31 日までの1年間(県民会館は 11 月 30 日まで) 施設名称は「やまぎんホール」及び「やまぎんこども館」
- 5日 **JRと東北6県は、2021 年 4 月～9 月に東北6県を対象とした「デスティネーションキャンペーン」を開催すると発表** 仙台市内で、吉村知事ほか各県の知事が出席し記者会見 東北6県が共同で6か月間DCを開催するのは初

- 5 日 2018 年 4 月～12 月に公告した県の公共事業等の入札において 47 件の事務ミスがあったことを発表 再発防止に向け発生状況を把握するため初の全庁的調査
- 7 日 山形県議会議員選挙の投開票が行われ、無投票当選の 17 人を除いた 26 議席が確定 自民が全体の過半数の 27 議席を獲得 投票率は 54.32%で過去最低
- 8 日 内閣府主催の男女共同参画会議に吉村知事が議員として出席 「女性の能力もフルに発揮することが社会活力の維持・向上につながる」と等を提言
- 12 日 県病虫害防除所は、平成 31 年度農作物有害動物発生予察情報注意報第 1 号(りんご黒星病)を発表 リンゴ黒星病の注意報は 29 年ぶり
- 13 日 **東北中央自動車道の南陽高畠 IC から山形上山 IC までの 24.4km が開通 知事や地元自治体の首長、県選出国會議員ら関係者が出席して開通式典を開催 山形・米沢間の所要時間が約 20 分短縮 山形、宮城、福島**の南東北 3 県をつなぐ**高速環状ネットワークが完成**
- 14 日 統一地方選後半の 6 市議選が告示 総定数 122 に対し 140 人が立候補を届出
- 16 日 統一地方選後半の 9 町村議選が告示 総定数 102 に対し 120 人が立候補を届出
- 16 日 建設会館(山形市)で「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」「さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム会議」を開催 大玉の新品種「山形 C12 号」のブランド化プロジェクトの進め方や、今年度のさくらんぼの高品質安定生産や販路拡大等に向けた取組内容を決定
- 17 日 **県、ジェットスター・ジャパン株式会社(千葉県成田市、片岡優社長)、庄内空港利用振興協議会との共同記者会見が庄内総合支庁で開催され、庄内空港と成田空港を結ぶ新規路線の就航決定を発表 成田路線及び格安航空会社(LCC)の就航は県内初**
- 19 日 平成 31 年 4 月 1 日現在における県内保育所等利用待機児童が、46 人(速報値:前年同数(確定値:45 人))となったことを発表 山形市、米沢市、山辺町において 3 歳未満児を中心に保育所などの利用申込が受入枠を上回り、県内における待機児童の発生は 3 年連続
- 19 日 日本農業遺産認定証授与式が農林水産省(東京都千代田区)で開催され、「山形県最上川(もがみがわ)流域 歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～日本で唯一、世界でも希少な紅花生産・染色用加工システム～」について、吉村知事が吉川農林水産大臣から認定証を受領
- 21 日 上山市長に横戸長兵衛氏が当選し 4 選
- 21 日 大蔵村長に加藤正美氏が当選し 4 選
- 21 日 統一地方選後半の 12 市町村議選の投開票が行われ、計 188 議席が確定 投票率は山形市が前回は 0.90 ポイント下回る 47.15%で過去最低となったのをはじめ、7 市町村で 4 年前の前回は下回る
- 22 日 県庁で、指導農業士への感謝状贈呈式と、青年農業士らの認定交付式を開催 知事が指導農業士 17 名、青年農業士 28 名、指導林業士 1 名、青年林業士 5 名に対し認定証を交付
- 23 日 山形空港で、山形発名古屋行きフジドリームエアライン 386 便が滑走路をはずれ離陸に失敗し、滑走路を閉鎖(～24 日) 負傷者なし 国土交通省は「重大インシデント」と認定

- 24日 山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」(山形市)において平成31年度拝礼式を実施
- 24日 自治会館(山形市)で平成31年度農林水産業元気再生戦略推進会議を開催 平成29年3月に策定した「第3次農林水産業元気再生戦略」の一部を見直すとともに、戦略に基づく31年度の取組内容について意見交換
- 24日 県や市町村、県内農業団体で組織する「やまがた攻めの米づくり日本一運動本部」の総会を県庁で開催 更なる品質・食味を追求するため本部名を「山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部」に変更
- 25日 山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」が4月30日で10周年を迎えることから、「おいしい山形プラザ」10周年記念セレモニーを開催

5月

- 1日 元号が「令和」に改元 県機関8か所に、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に際しての記帳所を設置(4/30、5/1) 改元の日に関内の市町村で受理された婚姻届は448件
- 9日 タレントの篠山輝信さんが知事を表敬訪問 令和元年度から山形県観光情報番組「やまがた発！旅の見聞録」の番組リポーターに起用されたのを機に、「やまがた特命観光・つや姫大使」に任命
- 11日 東日本大震災に伴い山形県内に避難されている方々と知事との懇談会を開催 避難世帯や支援団体の代表などが米沢市の置賜総合文化センターで懇談
- 14日 山形市内で、東北各県及び新潟県の各県知事及び産学官金の代表者が出席して「わきたつ東北戦略会議」が開催 「広域交通ネットワークのストック効果」、「『2020東北の情報発信拠点事業』の実施」、「地域課題解決に向けたAI/IoTの利活用」などをテーマとして意見交換 山形大学医学部東日本重粒子センターの施設見学会
- 14日 手話に対する関心と理解を深めるため「手話ハンドブック」の発行を発表 朝倉さやさんを手話普及イメージキャラクターとして、2,500部を発行
- 14日 平成30年外国人旅行者県内受入実績調査の結果(速報値)を公表 本県の受入延人数は、248,929人(前年比130.6%、58,290人増)と6年連続で前年実績を上回り過去最高を更新
- 15日 「つや姫」デビュー10周年記念となる年のキックオフイベントとして、「つや姫」デビュー10周年記念田植えイベントを開催 庄内町内の圃場において、知事と小学校児童(4年生)などが参加 あわせて県内各地でも「つや姫」リレー田植えを実施
- 16日 県と山形空港利用拡大推進協議会は、国土交通省に対し、「羽田発着枠政策コンテスト」により実現した山形—羽田便複数便化の継続・拡充を要望 吉村知事、同協議会の役員らが国土交通省を訪問し、石井国土交通大臣に要望書を提出
- 17日 県は、今年のゴールデンウィーク期間中に県内の主要観光地やイベントを訪れた観光客数を公表 約137万人(前年度比約132%増) 10連休となったことや、東北中央道の開通等により全体として大きく増加
- 17日 国の文化審議会が、中山町の旧柏倉家住宅を重要文化財に指定するよう答申 県内の重要文化財の登録件数は101件

- 20日 文化庁が日本遺産の追加認定について発表 「山寺が支えた紅花文化」に、大石田町と白鷹町を追加認定 「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に鶴岡市を追加認定
- 21日 「令和元年春の叙勲・褒章」の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲 28 名、褒章 1 団体・10 名、危険業務従事者叙勲 43 名が受章
- 22日 県議会 5 月臨時会が開会(～5/28)し、新議長に金澤忠一氏、副議長に鈴木孝氏を選出
- 23日 県庁で県地方税徴収対策本部会議を開催 平成 29 年度の県税の未収額は、前年度より1億 1,600 万円減の 12 億 6,700 万円となり、7年連続で前年度比減
- 23日 外航クルーズ船「シルバーミュージズ」が令和3年に酒田港に初寄港することが決定
- 24日 「健康経営」の普及を柱とし、「健康長寿日本一の実現」に向けて、山形県とアクサ生命保険株式会社の2者で連携協定を締結
- 28日 県さくらんぼ作柄調査委員会は、県内主要産地 48 園地における令和元年産のさくらんぼの作柄調査結果を発表 収穫量の予想は 13,500t、前年比 95%、平年比 96%となり、作柄は「平年並み」の見込み
- 29日 **令和3年度「第6回『山の日』全国大会」が、山形県・山形市・上山市を会場に東北初開催されることが決定**
- 29日 東京パラリンピック等でのメダル獲得に向けて、パラリンピック等メダリスト育成事業強化指定選手認定証授与式を開催 太田渉子選手ほか9名に認定証を授与
- 29日 県産えだまめのブランド力強化と産出額の向上を図るため、「山形枝豆日本一産地化推進協議会」を設立 3年計画で科学的な根拠に裏付けられた良食味生産に取り組み、えだまめの産出額で日本一に向けて今後の方針を確認
- 30日 「山形県知恵袋委員会」の委嘱状交付式を県庁で開催 委員 28 名に委嘱状を交付
- 30日 山形県と、アクサ生命保険株式会社が「健康長寿日本一の実現」に向けて、「健康経営」の普及を柱とした連携協定を締結
- 31日 令和元年度山形県農福連携プロジェクトチーム第1回会議を開催 農業分野における障がい者の就労促進等の事業計画を決定
- 31日 真室川町で「2019 全国山菜サミット in 真室川」が開催(～6/1) 町と山菜文化産業協会が実行委員会を組織し、県内での開催は4回目

6月

- 1日 山形県眺海の森(酒田市)において、「やまがた森の感謝祭 2019」を開催 森づくりの大切さについて理解を深めるとともに、森の恵みに感謝し、県民みんなで支える森づくりを進めるため毎年開催しているもので、式典後、知事らがソメイヨシノの苗木を記念植樹
- 1日 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、全国のオリンピック聖火リレーのルート概要を公表 山形県は全国 35 番目となる 2020 年6月7、8日に通過

- 3 日 東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会、日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会及び羽越・奥羽本線等高速化促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会(各協議会会長:金澤山形県議会議長)が、国土交通省など、関係機関に対して要望活動を実施
- 4 日 **県が開発した大玉さくらんぼ新品種「山形 C12 号」の名称が「やまがた紅王(べにおう)」に決定したことを発表 令和5年からの本格販売を予定**
- 4 日 内閣府主催の男女共同参画会議に吉村知事が議員として出席 「男女共同参画・女性活躍の推進に向けた重点取組事項」について協議
- 4 日 県庁で、「県いじめ問題対策連絡協議会」を開催 平成 30 年度の認知件数が過去最多の 10,316 件(前年比 1.7 倍)と発表
- 5 日 村山・最上地方を中心に降雹・強風等により、さくらんぼなどの果樹を中心に農林水産物に大きな被害が発生
- 6 日 6月6日及び9日に、大韓航空による本県と韓国ソウル間におけるチャーター便が庄内空港に運航(発着計 2 便)されることを受け、庄内空港で歓迎行事を開催 韓国からのインバウンドチャーター便は平成 29 年以来、2年ぶりの運航
- 6 日 ベトナム・ハノイ大学のグエン・バン・チャオ学長が知事を訪問
- 7 日 平成 30 年の本県の合計特殊出生率は 1.48 となり、前年比 0.03 ポイント上昇 2年ぶりの上昇となり、全国順位は前年を上回る 28 位
- 10 日 県開発推進協議会の会長である知事と副会長である県議会議長が、内閣府、法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省及び国土交通省を訪問し、令和2年度の政府の施策等に対する提案活動を実施(～6/11)
- 11 日 知事と在京有識者との県政懇談会を都道府県会館(東京都)で開催 本県の目指すべき発展方向について意見交換
- 11 日 東京都中央卸売市場「大田市場」において、知事、JA 全農山形会長及びさくらんぼ主要産地の市町長及びJA組合長等のオール山形体制によるさくらんぼトップセールスを実施
- 13 日 県議会6月定例会が開会(～7/2)
- 13 日 6月5日の降雹・強風等により、村山・最上地域を中心に農林水産物に大きな被害が発生したことを受け、山形県農林水産物等災害対策事業などの緊急対策を実施することを発表
- 14 日 吉村知事が、福島県と連携し、菅官房長官に対し、奥羽新幹線の実現を見据えた福島ー米沢間トンネル整備の早期事業化について要望
- 15 日 知事が、6月5日の降雹・強風等により大きな被害を受けた寒河江市、大江町を視察
- 18 日 **6月 18 日 22 時 22 分山形県沖を震源とする地震が発生(震源地:山形県沖、規模:マグニチュード 6.7) 鶴岡市で県内では過去最大となる震度6弱を観測 知事を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、同日に災害対策本部員会議を開催**
- 21 日 知事が、山形県沖を震源とする地震により被害を受けた鶴岡市を視察
- 22 日 自由民主党の岸田政調会長が鶴岡市を視察 若松副知事が、鶴岡市長とともに「山形県沖を震源とする地震に関する緊急要望」を実施

- 22日 6月22日、23日に山形市内で「第8回日本一さくらんぼ祭り」を開催 27万3千人が来場
- 23日 知事が、山形県沖を震源とする地震により被害を受けた鶴岡市、酒田市、遊佐町を視察
- 27日 平成30年度の県内の児童虐待認定件数は、過去最多となる512件(対前年度比194件増) 種類別では心理的虐待が最多
- 28日 令和元年度6月補正予算案(追加)について発表 6/5の降雹・強風等被害及び6/18の山形県沖を震源とする地震被害への対応に係る復旧等の経費について一般会計補正予算額4億3,400万円を計上

7月

- 1日 山形県沖を震源とする地震に係る政府調査団が鶴岡市を視察 吉村知事が山本順三防災担当大臣に政府からの支援について緊急要望
- 1日 県受動喫煙防止条例が一部施行され、県庁及び出先機関を敷地内禁煙へ
- 1日 「子ども食堂」の運営や開設を支援する「山形県子どもの居場所づくりサポートセンター」を県社会福祉協議会(山形市)に開設 県が県社協に委託して実施
- 1日 県と鶴岡市は、6月の山形県沖を震源とする地震の影響により被害が甚大なあつみ温泉における緊急対策として、早急に宿泊需要を回復させるため「あつみ温泉 GENKI 割」(宿泊者1人当たり3千円の割引)を7月末まで実施
- 2日 外航クルーズ船「ノルウェー・スピリット」が令和2年に酒田港に初寄港することが決定(新型コロナウイルスの影響を受け寄港中止)
- 3日 県議会議長が、内閣府で、山本防災担当大臣に、山形県沖を震源とする地震からの早期復旧・復興に関する意見書を提出 6項目にわたる意見書において、公共土木施設や漁港の復旧に必要な財政措置、観光需要の早期回復のための支援などを要望
- 3日 吉村知事が、東京都で開催された全国知事会国産木材活用プロジェクトチーム会議(リーダー小池東京都知事)に出席 国産木材の需要拡大に向けた提言(案)等、「各都道府県における取組事例」について協議 「国産木材活用に関する取組」について山形県から発表
- 4日 吉村知事が、福島県と連携し、JR東日本喜勢陽一常務取締役に対し、奥羽新幹線の実現を見据えた福島-米沢間トンネル整備の早期事業化について要望
- 5日 「知事のほのぼの訪問」を2回実施(ところ:みつざわ未来創造館らいず(最上町)、団体名:もがみハウス、たらふく工房満沢) («知事のほのぼの訪問」は、1/11から7/5まで計4回実施)
- 5日 **酒田港におけるコンテナ取扱量の増加に対応するため、酒田港国際ターミナルの1号コンテナクレーンの更新・大型化が完了し、運用開始**
- 6日 本県漁業の振興に向け、地域の実情を踏まえた効果的な施策の展開につなげていくため、水産振興に係る諸課題や県施策について話し合う、「知事と漁業関係者との意見交換会」を県水産試験場「おいしい魚加工支援ラボ」で開催

- 8日 ICTの利活用の全庁を挙げた推進に向けて、知事を本部長とする「山形県ICT推進本部」を立ち上げ、第1回目となる本部会議を開催 ICT推進の今後の取組方向などについて確認
- 8日 内山電機工業株式会社が上山市への立地を発表し、同社の宮本社長が知事を表敬訪問 2022年5月からの操業開始を予定
- 9日 山形県産業構造審議会を県庁で開催 知事が「次期産業振興ビジョン」の策定について諮問
- 9日 国土交通省は、6月の山形県沖を震源とする地震の影響で落ち込んだ観光需要を喚起するため、山形県と新潟県への宿泊者1人当たり3千円を補助する支援策を発表
- 11日 県教育委員会が、「庄内中高一貫校(仮称)教育基本計画策定委員会」を設置し初会合 2020年7月をめどに教育基本計画を策定する方針
- 12日 県民ボランティアである消費生活サポーターの委嘱状交付式を開催 消費生活センターと地域を結ぶパイプ役として13名に委嘱
- 15日 知事は、韓国を訪問し、県産品の輸出拡大と観光誘客、交流拡大を図るためのトップセールスを実施 酒田港国際定期コンテナ航路の海運会社へのポートセールス、県産酒のプロモーションなどを実施するとともに、大韓赤十字社大邱支社との交流事業の継続について合意(～7/20)
- 19日 国の文化審議会は、「四山楼」(山形市)の主屋と蔵座敷の2件を登録有形文化財(建造物)に指定するよう答申 県内の登録有形文化財(建造物)の登録件数は183件
- 21日 「第25回参議院議員通常選挙 山形県選挙区」で、芳賀道也氏が初当選 県選挙区の投票率は全国トップの60.74%(前回から1.48ポイント減少)
- 23日 7月23日、24日に、富山市で全国知事会議が開催 吉村知事は全国知事会の男女共同参画プロジェクトチームのリーダーとして、「女性の活躍・ウーマンミクスを加速し、経済活性化」をテーマに6項目の提言について報告したほか、山形県沖を震源とする地震関連の復旧支援における災害ボランティアの重要性について発言 若者の人口減少を抑制する地方大学の振興に関連して定員増と留学生支援の重要性について提案
- 25日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド化戦略推進本部会議」を開催 「つや姫」の令和2年産作付面積は、9,700ha程度、生産量は約5万2千トン、「雪若丸」は3,500ha程度、生産量約2万トンとすることを決定
- 29日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 知事が「第4次山形県総合発展計画(仮称)」の策定について諮問
- 29日 自治会館(山形市)で山形県「ラ・フランス」振興協議会を開催 農林水産省の地理的表示(GI)保護制度に登録申請中の「山形ラ・フランス」について、今年度からの生産行程管理の実施等について確認
- 30日 県地域医療対策協議会の初会合を県庁で開催 今年度中の医師確保計画策定に向けて医療関係者等の委員から意見を聴取
- 31日 パレスグランデール(山形市)で、「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」の総会・促進大会を開催 奥羽新幹線実現足がかりとなる福島ー米沢間のトンネル整備の重要性を確認し、その早期事業化などを掲げた大会決議を採択

- 31日 県庁で、令和元年度献血運動推進協力団体(厚生労働大臣表彰)及び感謝状伝達式並びに献血功労団体等知事感謝状の贈呈式を開催
- 31日 文部科学省が「令和元年度全国学力・学習状況調査結果」を公表 本県の公立校の平均正答率は、小学校の国語では全国平均よりやや高く、中学校では同程度、算数・数学、英語では小中で課題の多い結果

8月

- 1日 県内初の格安航空会社(LCC)路線となるジェットスター・ジャパン株式会社(千葉県成田市、片岡優社長)の庄内＝成田便が新規就航(1日1往復) 吉村知事が出席し、おいしい庄内空港で記念式典を開催
- 1日 子育て家庭向け情報サイト「やまがた子育て応援サイト」をリニューアルし公開開始 県がこれまで運営していた「山形みんな子育て応援団サイト」「やまがたママの安心ナビゲーション」「やまがたイクメン応援サイト」の3つのサイトを統合・再構築
- 2日 知事は全国知事会男女共同参画プロジェクトチームリーダーとして、片山内閣府特命大臣(男女共同参画)及び大口厚生労働副大臣に対し要請活動を実施 「女性活躍～ウーマノミクス～を加速し、経済活性化！！～育児・介護と仕事の両立支援、男女が尊重し合い格差解消～」について提言
- 3日 山形県庁で、令和元年度山形県優良建設工事等顕彰式を開催 建設工事施工企業13社、建設工事関連業務履行企業6社を表彰
- 5日 自転車活用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「山形県自転車活用推進計画」を策定(計画期間:2021年度まで)
- 6日 平成30年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入歳出ともに0.6%増加し、歳入から歳出と繰り越し財源を差し引いた実質収支は46億円の黒字
- 7日 片山内閣府特命大臣(地方創生)が県内施設の視察のため来県し、知事を表敬訪問
- 7日 高速道路のミッシングリンクを解消するために、本県を含む高速道路の整備が遅れた10県の知事が連携し、国土交通省を訪問し要望活動を実施
- 8日 6月18日に発生した山形県沖を震源とする地震により住宅被害を受けられた世帯に、県からの見舞品(米・味噌・醤油)をお届けする事業を開始
- 9日 「やまがた森林ノミクス推進会議」と「やまがた緑県民会議」の2つの会議を一体化した「やまがた森林ノミクス県民会議」を新たに設置し、林業・建築・観光・教育などの各分野の委員からなる会議を初開催
- 10日 gura(山形市)で、「第4次山形県総合発展計画(仮称)」の策定に向けた若者との意見交換会を初開催 20～30代の学生・社会人など15名程度が参加し、「ヤマガタ2030(ニイゼロサンゼロ)を語る会～10年後の自分を思い描いて～」をテーマにワークショップを開催
- 22日 鹿児島県で「自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク」第13回知事会合が開催 本県からは吉村知事が出席し、「地方における人材(財)確保・育成対策」等について意見交換
- 22日 県産酒を中心に食や伝統工芸、観光資源などの県産品等を総合的にPRする「日本一美酒県 山形」フェアの実行委員会を設立 令和2年3月開催予定 (※新型コロナウイルス感染症対策のため開催を見合わせ)

- 25日 知事は、タイ・バンコクを訪問し、東北観光推進機構主催「バンコクトップセールス事業」に参加 インバウンドの誘客拡大に向け、タイ政府の観光関係者や現地の航空会社等に対し誘客プロモーションを行うとともに、県内現地進出企業と産業振興について意見交換を実施(～8/29)
- 27日 建設会館(山形市)で「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」を開催 令和元年度の生産・販売状況と今後の対応について検討 本年産のさくらんぼ収穫量は、6月の降雨等の影響により、最近10年で最低となる1万2千トン弱の見込み
- 29日 山形大学医学部と国際交流協定を締結している韓国延世大学の医学部生4人が、山形大学医学部の先生・学生と共に、吉村知事を訪問
- 31日 大規模地震発生を想定した県と山形市合同による総合防災訓練を山形市で開催 地域住民ら約1,700人が参加し、救助や消火、医療救護、避難所運営などの各種訓練を実施

9月

- 1日 酒田市長に丸山至氏が当選し再選
- 1日 障がいのある方が周囲からの援助や配慮を得やすくする「ヘルプマーク」の普及を図るため、「ヘルプマークパートナーシップ企業」の認定を開始 52の企業・団体を認定
- 2日 新潟市で、「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン」共同記者発表会を開催し、新潟県の花角知事、本県の若松副知事などが出席 10月～12月に開催されるDCにおける庄内の主な取組み等を発表
- 3日 **県と県漁業協同組合は、県産ズワイガニのブランド名称を「庄内北前ガニ」と発表 基準を満たしたカニを10月から出荷し、ブランド化を推進**
- 3日 宮城県南三陸町の佐藤仁町長が吉村知事を訪問 東日本大震災における本県からの支援に対し感謝状を贈呈
- 6日 福島・山形・新潟3県知事会議を村上市で開催 各県共通の地域課題について意見交換を行うとともに、東日本大震災への対応や頻発・激甚化する自然災害を踏まえた防災・減災対策の推進などについて、政府に要望を行うことで合意
- 7日 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運を高めるため、イオンモール天童において、県及び県内14市町のホストタウンが一堂に会し、「ホストタウン大集合！山形スポーツフェスタ2019」を開催
- 8日 山形市長に佐藤孝弘氏が当選し再選
- 8日 新庄市長に山尾順紀氏が当選し4選
- 9日 令和元年度9月補正予算案を県議会に内示 6月18日の山形県沖を震源とする地震被害への対応のほか、「やまがた創生」のさらなる展開強化、喫緊の課題への対応等について一般会計補正予算額131億8,400万円を計上
- 10日 県は防災知識の普及啓発及び危機管理意識の高揚を図るため、一般県民、自主防災組織、市町村・消防職員担当者等を対象に、学識経験者や防災関係団体担当者等による講演を行う「山形県防災フォーラム」を開催

- 12日 鶴岡市の荘銀タクト鶴岡などを会場に、「第27回北前船寄港地フォーラム in 庄内・山形／2019 中日文化観光大連交流大会」を開催 日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の関係市町に加え、大連市人民政府をはじめ中国の旅行業者など多数参加
- 13日 県議会9月定例会が開会(～10/4)
- 13日 台風第15号により大きな被害を受けた千葉県に対し、支援物資としてペットボトル飲料水約2万本及びブルーシート5百枚を発送
- 14日 2019世界パラ水泳選手権大会(ロンドン)男子200m個人メドレーにおいて、東海林大選手が世界新記録で優勝 東京パラリンピック日本代表に内定
- 16日 ラグビーワールドカップ2019日本大会チームに出場するサモア代表が公認チームキャンプ地である山形県に到着し、文翔館でウェルカムセレモニーを開催
- 16日 MSCスプレنديダ酒田港初寄港
- 17日 「つや姫」がデビュー10年目を迎えることを記念して、今年10歳となる山形市立村木沢小学校の4年生児童などが参加し、「つや姫」デビュー10周年記念稲刈りイベントを山形県農業総合研究センターで開催
- 18日 数え年で99歳の白寿を迎える方に知事から賀詞を贈呈 県内の対象者は882人
- 20日 令和元年度避難者アンケート調査の結果を公表 今後の生活の予定について7割強の方が山形県に留まりたい意向などの状況が判明
- 25日 県議会は、議場演奏会と議会見学会を開催 県民に身近な県議会づくりの一環として、山形交響楽団による本会議場での演奏、会議の傍聴、議場見学等を実施
- 29日 消費者力の向上や消費者被害の未然防止を図るため、県内一円から幅広い年代の方が集まるモンテディオ山形のホームゲームにおいて、消費者力アップイベントを初開催
- 29日 令和元年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰の表彰式を文翔館(山形市)で開催 功労者として2名を表彰

10月

- 1日 消費税率が8%から10%に引き上げ 県では4月から軽減税率制度及び消費税転嫁に関する情報等や相談を受け付ける窓口を設置 商工業振興資金の対象の拡大等の支援策を実施
- 1日 **大型観光キャンペーン「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン(DC)」が10月1日から開幕 「日本海 美食旅(ガストロノミー)」をテーマに新潟県・庄内エリアの両地域に共通する「食」「酒」の魅力を中心に、キャンペーンを12月までの3か月間にわたり開催 10月5日には、JR新潟駅で行われたオープニングセレモニーに吉村知事が出席**
- 1日 平成30年度の本県の主要観光地における観光客入込状況を公表 過去最高となる4,651万人(前年度比103.1%)
- 1日 知事部局等(企業局及び病院事業局を含む。)の障がい者雇用状況について、10月1日現在の雇用率が2.65%となり、法定雇用率2.5%を達成
- 1日 病院事業局が、令和5年度の開院を目指す県立新庄病院の改築整備事業について基本設計の概要を公表

- 2日 外航クルーズ船社「カーニバル・オーストラリア」幹部であるマイケル・ミハイロフ取締役が知事を表敬訪問
- 3日 知事は、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟会長として、国土交通省の御法川国土交通副大臣及びJR東日本の喜勢常務取締役に対し要望活動を実施 奥羽・羽越両新幹線の早期実現及び奥羽新幹線の実現を見据えた福島ー米沢間トンネル整備の早期事業化について要望 県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟及び県内各地域の推進組織が合同で実施
- 3日 県内の公共・民間施設の木質化のモデルとして工事を進めてきた、県庁舎1階ロビーの内装木質化工事が完成し、除幕式を開催
- 3日 令和元年人事委員会勧告(月例給、ボーナスともに6年連続引上げ)
- 7日 県庁で第8回山形県総合教育会議を開催 次期「山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」の策定に向けて意見交換
- 9日 「つや姫」のデビュー10周年「感謝の集い」をパレスグランデール(山形市)で開催 吉村知事からのあいさつのほか、作家の阿川佐和子さん、料亭「菊乃井」主人の村田吉弘さん、イタリアンレストラン「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ奥田政行さんによるトークセッション等を開催
- 9日 山形国際交流プラザ(山形市)で「ウーマノミクスで経済活性化塾」を開催 「女性も活躍する企業が成長する！！～ウーマノミクスで山形に新しい風をおこそう～」をテーマにシンポジウムを開催
- 9日 台湾桃園国際空港と山形空港を結ぶ中華航空の国際定期チャーター便が10月から2020年2月までの間、計150便が運航されることを受け、山形空港で歓迎行事を開催
- 10日 県と株式会社山形銀行が山形県総合文化芸術館の施設命名権(ネーミングライツ)に関する協定を締結 施設の名称を「やまぎん県民ホール」と発表
- 10日 山形県文化財保護審議会が、「木造如来立像」(高畠町)など3件を県指定文化財にするよう答申 県天然記念物の「東法田の大アカマツ」を指定解除にするよう答申 県指定文化財の総数は529件
- 11日 令和元年度山形県農福連携プロジェクトチーム第2回会議を開催 庄内に農福連携推進員を1人配置する方針を決定
- 11日 ザ・キャピトルホテル東急(東京都千代田区)で、「雪若丸」の新CM発表会を開催 昨年に引き続きイメージキャラクターをつとめる俳優の田中圭さんが登場 第2部「つや姫」10周年記念イベントには俳優の眞島秀和さんが登場 認知度向上及びブランド化を図るため関東圏や関西圏、中京圏及び県内でCM放映を開始
- 12日 台風第19号が本県に接近 県内26市町村で避難勧告・避難指示等が発令 負傷者3名、住宅被害201棟 高畠町・川西町などで農地の浸水が発生するなど農林水産業にも大きな被害が発生 知事を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、同日に災害対策本部員会議を開催
- 14日 皇位継承の重要祭祀「大嘗祭」の中心儀式「大嘗宮の儀」が14,15日に行われ、本県からは、ラ・フランス、シャインマスカット、柿、ゼンマイ、するめが供えられた
- 15日 庄内総合支庁が、昭和44年4月に本県初めての総合出先機関「庄内支庁」として設置されてから50年の節目を迎え、開設50周年記念式典を開催

- 16日 知事が、台風第19号により大きな被害を受けた川西町・高島町を視察
- 16日 県が、豚コレラ(豚熱、CFS)及びりんご黒星病緊急対策にかかる県単独補助制度を発表 豚コレラは、国に補助対象とならない消毒機械などの整備費などを支援 りんご黒星病は、収穫後防除の薬剤費を支援
- 16日 品質、産出額ともに日本一のえだまめ産地を目指したプロジェクトの一環として、「山形枝豆日本一産地化フォーラム2019」を開催 大規模化とブランド化の両立などについて情報交換
- 17日 東京第一ホテル鶴岡を主会場に「第18回全国農林水産物直売サミット」が本県で開催(～10/18) 全国から参加した直売所関係者が、運営課題に係る情報交換や県内直売所の現地視察を実施
- 17日 文部科学省が平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表 県内の小中学校・高等学校・特別支援学校で計10,496件のいじめが認知され、昨年度から大幅に増加し過去最高 暴力行為、不登校は増加傾向
- 18日 名鉄百貨店本店(名古屋市)及び高島屋大阪店(大阪市)で「つや姫」「雪若丸」のトップセールスを実施
- 19日 日本橋三越本店(東京)で「つや姫」「雪若丸」のトップセールスを実施
- 21日 県漁業試験調査船「最上丸」(5代目)を新造 酒田港水産第一岸壁で竣工式を開催
- 24日 寒河江市市民文化会館(寒河江市)において令和元年度山形県戦没者追悼式を実施
- 24日 山形県、山形市、国立大学法人山形大学、東北芸術工科大学、山形県すまい・まちづくり公社(正式名称:山形県住宅供給公社)の5者が準学生寮供給に関する連携協定を締結 中心市街地の空き家・空きテナントを「準学生寮」として整備する全国初の取り組みなどを推進
- 28日 ボランティアで仲人活動を行う「やまがた縁結びたい」で、一定数の成婚実績があった4個人・1団体に知事から感謝状を贈呈
- 29日 大石田町長に村岡藤弥氏が無投票で初当選
- 30日 新潟市内で「北海道東北地方知事会議」が開催 吉村知事をはじめ北海道東北各県・新潟県の知事が出席 台風19号による災害への対応、東日本大震災からの復興、医師確保対策の3テーマで意見交換 吉村知事から、広域交通ネットワークの整備促進、総合的な少子化対策と女性の活躍推進の2項目を提起し、国への提言を採択
- 31日 令和3年4月から9月にかけて開催される東北6県での広域観光キャンペーン「東北デスティネーションキャンペーン(DC)」のキャッチコピーとロゴマークが決定し、吉村知事ほか東北6県・仙台市・JR東日本・東北観光推進機構の代表者が共同で記者発表 キャッチコピーは「巡るたび、出会う旅。東北」

11月

- 1日 台風第19号により被災された方を対象に、県営住宅を無償で提供することを発表 また農林漁業者を対象とした緊急対策として、国の災害復旧事業の対象とならない小規模な被害の復旧に対する補助事業を実施することを発表

- 1 日 村山総合支庁で、豚コレラ等侵入防止対策会議を初開催 県と市町村の担当者等が出席し、対策本部マニュアルの説明や防疫対策などを協議
- 1 日 令和元年度(平成 30 年6月から令和元年5月末まで)の新規就農者数が、昭和 60 年の調査開始以来、過去最多を更新する 348 人となったことを発表 前回調査を4人上回り、4年連続で東北最多
- 3 日 齋藤茂吉文化賞(3名)、山形県産業賞(3名)及び山形県科学技術賞(1名)の贈呈式を合同で開催(山形市・文翔館)
- 5 日 吉村知事が、菅官房長官及び二階自民党幹事長らに対し、東北中央自動車道と日本海沿岸東北自動車道、山形自動車道の整備推進について要望 国土交通省の御法川副大臣に対し、奥羽・羽越新幹線の早期実現及び奥羽新幹線の実現を見据えた福島―米沢間トンネル整備の早期事業化について要望 県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟及び県内3地域の推進組織が合同で実施
- 7 日 「令和元年秋の叙勲・褒章」の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲 57 名、褒章 11 名、危険業務従事者叙勲 39 名が受章
- 8 日 県の姉妹県州であるコロラド州オーロラ市のボブ・ラガー市長ほか訪問団が知事を表敬訪問
- 11 日 都道府県会館(東京都)で全国知事会議開催に引き続き、総理官邸で政府主催全国知事会議が開催 吉村知事は、国土強靱化の実現に向けた広域交通ネットワークの整備加速について発言し、高速道路の着実な整備促進や奥羽新幹線の整備計画路線への格上げ、特に福島―米沢間トンネル整備の早期事業化に向けた財政支援などを要望
- 11 日 山形テルサ(山形市)で、ブランド米を目指す全国の米産地の生産者等が一堂に会し、「全国ブランド米産地生産者交流大会 in 山形」を開催 22 都道府県の生産者や行政・JA担当者など約 500 名が参加
- 11 日 藤島体育館(鶴岡市)で、家畜伝染病発生時に防疫措置拠点となる現場事務所設営演習を県内初開催 豚コレラ等が発生した場合を想定し、迅速な防疫措置を実施するため、その拠点となる現場事務所の設置・運営の手順を確認
- 12 日 内閣府主催の男女共同参画会議に吉村知事が議員として出席 男女共同参画基本計画の改定について協議
- 12 日 有限会社アール・エスが上山市に放置した産業廃棄物を廃棄物処理法に基づく代執行により撤去開始 県が廃棄物に係る行政代執行を行うのは 12 年ぶり4例目
- 13 日 荘銀タクト(鶴岡市)で第 69 回山形県・県民福祉大会を開催 「県民が互いに支えあい 生きがいを持って暮らせる健康安心社会の実現」の大会主題のもと、社会福祉功労者に対する表彰状の授与及び感謝状の贈呈等を実施
- 13 日 東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会、日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会及び羽越・奥羽本線等高速化促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会(各協議会会長:金澤山形県議会議長)が、国土交通省など、関係機関に対して要望活動を実施

- 15日 県自治会館(山形市)で、山形県自転車ネットワーク計画策定検討会の初会合を開催 広域的なサイクリングモデルルートを選定や整備方針等を主な内容とする山形県自転車ネットワーク計画の策定に向けて外務有識者らと協議
- 15日 国の文化審議会は、小山崎遺跡(遊佐町)を国指定史跡に、旧遠万織物(創匠庵)(米沢市)の主屋、前蔵、新蔵の3件を登録有形文化財に登録するよう答申 県内の国指定史跡は29件目、登録有形文化財は186件目
- 16日 「女性首長によるびじょんネットワーク」会議が東商グランドホール(東京都)で初開催 小池東京都知事と吉村山形県知事が共同座長となり、全国の女性首長・女性経営者と意見交換
- 20日 天皇陛下御即位奉祝山形県民大会を山形市民会館で開催 知事を会長とする「県御大礼奉祝委員会」が主催し、約1千人が出席
- 20日 本県の立地環境等をPRし企業誘致を促進するため、東京において「企業立地セミナーin TOKYO」を開催 セミナーでは、知事がトップセールスを行うとともに、進出企業等による講演やレセプションを実施 154人(95社・団体)が参加
- 22日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 「第4次山形県総合発展計画(仮称)」中間報告(案)について審議
- 24日 米沢市長に中川勝氏が当選し再選
- 24日 新庄市・金山町で、県や県森林協会などをつくる実行委員会が主催し、最上地域のやまがた森林ノミクスの取組みを情報発信する「やまがた森林ノミクス産業展 in もがみ 2019」を初開催(～11/26)
- 26日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、令和元年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞表彰式を開催 大高根農場記念山形県農業賞は4名、2団体、川村造林記念山形県林業賞は1名、1団体、山形県水産業賞は1名、1団体が、それぞれ受賞
- 27日 県と日本郵便株式会社は、地域活性化、観光振興・山形県産品の販路拡大に関することなど8項目を定めた「やまがた創生に関する包括連携協定」を締結 「やまがた百名山」のPR等の取組みについて連携して順次実施
- 27日 山形グランドホテル(山形市)で令和元年度山形県教育功労者表彰式を開催 教育行政、学校教育、体育・スポーツの3分野で9人を表彰
- 28日 社会人経験者を対象とした県職員選考試験の受験者募集を開始 試験区分は、ICT(情報通信技術)及び国際・観光の2区分(若干名) 社会人経験者に限定した採用は知事部局では初
- 28日 山形県産業構造審議会を山形県建設会館(山形市)で開催 「次期産業振興ビジョン」中間とりまとめ(案)について審議
- 29日 県庁で、令和元年度「里の名水・やまがた百選」の選定書交付式を開催 県内6市町村の湧水計9か所を新たに選定し、代表者に知事から選定書を交付 選定された湧水は今回を含めて合計53か所
- 29日 パレスグランデール(山形市)で「第5回全国森林ノミクスサミット in 山形」を開催 全国から林業関係者等が参加し、講演やトークセッションを開催
- 30日 山形県県民会館が閉館

- 1日 山形県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」のオープンハウス(大ホールお披露目式)を開催 緞帳『紅』-BENI-の披露、ピアニストの三輪郁氏、山形交響楽団の演奏などを開催
- 2日 第57回技能五輪全国大会のフラワー装飾職種で金賞を獲得した株式会社花泉の松田耀氏、第39回全国障害者技能競技大会のDTP種目で金賞を獲得した株式会社アサヒマーケティングの海藤航貴氏らが県庁を訪れ、知事に大会の成果を報告
- 3日 県議会12月定例会が開催(～12/20)
- 3日 令和2年度当初予算の要求概要を公表 一般会計の予算規模6,228億円(前年度当初比1.6%増)
- 3日 知事は、農林業の未来を担う高度な人材の育成に向けた専門職大学の設置について基本構想を決定し、新庄市の農林大学校の敷地内に、令和5年4月開学を目指すことを12月定例会で表明
- 3日 台風第19号で発生した宮城県角田市内の災害廃棄物を処理するため、環境省から広域処理について打診を受け、中山町の民間焼却施設での受け入れを開始
- 4日 令和元年度「輝けやまがた若者大賞」授与式を知事室で開催 地域活性化に寄与している若者の優れた功績・成果又は地道な取組みなどをたたえるもので、受賞4団体に知事から賞状と記念品を贈呈
- 4日 「棚田地域振興法」の施行を受けて「棚田地域振興計画」の策定に向けた初の会議を開催 令和2年1月の策定を予定
- 7日 山形新幹線の新庄延伸20周年を記念し、JR新庄駅で記念セレモニーを、大地会館(新庄市)で記念シンポジウムを開催
- 9日 本県の医療・保健提供体制等の確保に向け、県民の健康づくりや認知症対策、死因究明の推進など13項目について、山形県と山形県医師会で協定を締結 都道府県と医師会による平時の協定は全国初
- 14日 東北中央自動車道「一般国道13号真室川雄勝道路」の起工式を秋田県湯沢市で開催 副知事、真室川町長ら約120人が出席
- 17日 東京2020オリンピック聖火リレー詳細ルートを発表 2020年6月7、8日にかけて18市町39.3kmを走行
- 17日 遊佐町及び鮭川村のそれぞれと、県、東北芸術工科大学及び山形県すまい・まちづくり公社(正式名称:山形県住宅供給公社)は『地域づくり連携協定』を締結 増加する空き家を活用し地域コミュニティの維持や、良好な地域づくりを推進
- 18日 「知事と若者の地域創生ミーティング」を河北町どんがホール(河北町)で開催 (「知事と若者の地方創生ミーティング」は、1/11から12/18まで計11回実施)
- 20日 令和2年度政府予算案が閣議決定 これを受け知事は「今回の政府予算案においては、幼児教育・保育の無償化をはじめとする社会保障の充実や、頻発化・激甚化する自然災害を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策、経済の下振れリスクに備え持続可能な成長に向けた中小企業等の生産性向上の取組みへの支援、日米貿易協定など新たな貿易環境に対応するための農林水産業の強化策

などが計上されております。全体として、「やまがた創生」の推進に資する施策が多く盛り込まれており、これまで提案してきたことが反映されたものと一定の評価をしたいと思います」とコメント

- 20 日 羽黒山バイパス事業の完成を令和 2 年度に控え、シンボルとなる新設橋梁の名称を「羽黒山神路大橋(はぐろさんかみじおおはし)」に決定したことを発表
- 23 日 酒田市内で、「山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議」を開催 本県での再生可能エネルギー導入拡大のため、遊佐町沖での洋上風力発電の導入に向け法定協議会の設置を国に要請していくことについて了承
- 24 日 県民みんなが自転車を安全に利用し、事故の無い社会を実現するために、「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定
- 25 日 「移住・定住の新たな推進組織」に係る設立発起人会を自治会館(山形市)で開催 県と市町村が連携して設立した「やまがた移住定住・人材確保推進協議会」を発展的に改組し、県・市町村・企業・大学等の連携を強化し、県を挙げて移住・定住推進を一体的・効果的に展開するための新たな組織を令和2年度に立ち上げるもの 移住・定住推進を目的とした移住関係の一般社団法人の立ち上げは東北初
- 26 日 山形県とヤフー株式会社は、「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結 災害時のアクセス負荷 軽減を図るため、県ホームページのキャッシュサイトをヤフーのサーバー上で掲載することや、避難場所等の防災情報をヤフーサービス上で掲載すること等で協力
- 26 日 山形県と東日本段ボール工業組合は、「災害時における段ボール製品の調達に関する協定」を締結 県からの要請に基づき、東日本段ボール工業組合は、災害時の避難所運営に必要な段ボール製品(簡易ベッド、間仕切り等)を供給することで協力
- 26 日 ホテルキャッスル(山形市)で、山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議を開催 県のほか関係機関が出席し、構造タンパク質素材事業化の進展などについて報告・意見交換
- 26 日 県教育委員会が、「山形県公立学校における働き方改革プラン(第 I 期)」を策定 文部科学省が本年1月に定めた「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を踏まえ、県教育委員会として、公立学校教員の勤務時間の上限に関する方針等を示し、学校における教員の超過勤務時間削減に向けた取組みを推進
- 27 日 建設を進める「最上小国川流水型ダム」で、ダムの安全性を確認するための試験湛水を開始 試験完了後、令和2年度の完成を予定

作成 令和2年3月30日
山形県総務部広報広聴推進課
山形市松波二丁目8番1号
電話番号 023(630)2088